 平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井に	かみ修工事	実施設計書
	(A) 农心工业	大心队 们自
工 事 番 号	加教教第15号	
工 事 場 所	加東市 平木 地 内	
		
工 種	建築工事	
	乒 庄 旧	. 加東市 —————
		: 川州川 ——————————————————————————————————

·			内	訳					概 要
	実	施		今回変更		増	額		
設計額			円	円				円	ホール天井張替工事ホールトップライト改修工事
請負額			円	円				円	
			請負		日数	平月	成27年 9月 まで	30日	
(起工又	は変更理由)								

番 号	名 称	内 容	数量	単位	単 価	金 額	備考
	加教教第15号	平成27年度 鴨川小学校校舎	ホール天井ほか改修	工事			
A	校舎改修工事		1.0	式			
	直接工事費計						
В	共通仮設費		1.0	式			
С	現場管理費		1.0	式			
D	一般管理費		1.0	式			
	計						
	工事価格						
Е	消費税相当額		1.0	式			
	工事費						

番号	名		内 容	数量	単位	単 価	金額	備考
A	校舎改修工事							
1	建築主体工事			1.0	式			
2	電気設備工事			1.0	式			
	#							

番 号	名 称	内 容	数量	単位	単価	金額	備考
1	建築工事						
I	校舎屋根トップライト改修工事		1.0	式			
П	多目的ホール天井改修工事		1.0	式			
Ш	樹木撤去工事ほか		1.0	式			
	計						

番号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金額	備考
I	校舎屋根トップライト改修工事						
	清掃・片付け		52.8	m2			
	既設トップライトガラス 撤去	網入ガラス t=6.8	50. 3	m2			
		下り棟共					
	棟包み 撤去	鋼板 t=6	18. 3	m			
	水切 撤去	アルミ	34. 4	m			
	奥付水切 撤去	下地材共 壁取合水切共 鋼板 t=0.6	34. 9	m			
	廃材運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			
	All FR TO LI						
	鉄骨下地 フッ素GL鋼板 t=0.45 横葺	裏貼発泡ポリエチレンフォーム t=2 共継手カバーセット、吊子、三角バックアップ材共元旦 一文字S葺 同等	50.3	m2			
		九三 大丁0耳 四寸					
	ゴムアスルーフィング t=1.0		50.3	m2			
	複合板 t=43	ポリスチレンフォーム t=25 センチュリーボード t=18	50, 3	m2			
	P計						

番号	名称	内 容	数量	単位	単価	金 額	備考
	棟包み	屋根同材 平板加工 下地亜鉛メッキ鋼板、通し吊子共	12. 4	m			
	下り棟包み	屋根同材 平板加工 捨て板共	5. 9	m			
	腰折れ部補強下地	亜鉛メッキ鋼板 t=0.8加工	34. 4	m			
	軒先水切	屋根同材 平板加工 下地亜鉛メッキ鋼板 t=0.8共	34. 4	m			
	立上り部 フッ素GL鋼板 t=0.45 横葺	裏貼発泡ポリエチレンフォーム t=2共 三角バックアップ材共 元旦 一文字S葺 同等	19. 2	m2			
	ゴムアスルーフィング t=1.0		19. 2	m2			
	断熱材ポリスチレンフォーム t=25	2種B品	19. 2	m2			
	下地ハット型金属タルキ	ツメ付品	19. 2	m2			
	同上取付金具	ITLハンガー	19. 2	m2			
	奥付水切	屋根同材 平板加工 下地亜鉛メッキ鋼板、通し吊子共	29.6	m			
	唐草	亜鉛メッキ鋼板 t=0.8加工	29.6	m			
	壁下部見切	捨て板共	5. 3	m			
	P計						

番 号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金額	備考
	屋根取付下地 C-100×50×20×2.3	SSC400相当品	405. 0	kg			
	PL-6		196. 0	kg			
	PL-4		266. 0	kg			
	ボルト類		1.0	式			
	工場製作費		868. 0	kg			
	現場工事費		868. 0	kg			
	運搬費		868. 0	kg			
	シアナミド鉛サビ止め	JISK5625	61.0	m2			
	P計						
	計 計						

番号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金額	備考
Ш	多目的ホール天井改修工事						
	内部足場	枠組棚足場	351.0	m2			
	仕上養生		351.0	m2			
	清掃・片付け		351. 0	m2			
	既設ロックウール吸音板 撤去	捨貼石膏ボード、天井下地共	324. 0	m2			
	電動ルーバー 撤去	スチール枠共	1.0	式			
	廃材運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			
	地震対策軽量天井システム	下地共 三洋工業 三洋フェノバSZ耐震断熱天井 同等	357. 0	m2			
	同上壁周囲納め		77.8	m			
	垂れ壁部 断熱天井仕上材 t=20	三洋工業 フェノバ 同等	7.7	m2			
	軽量鉄骨下地 スタッド50	直貼 @300	7. 7	m2			
	下地構造用合板 t=12		7. 7	m2			
	アルミ見切縁 t=1.0	C型 W105	76. 9	m			
	P計						

番号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金額	備考
	見切縁取付下地材 C-100×50×20×2.3		335. 0	kg			
	既製品アングル		1.0	式			
	ボルト類		1.0	式			
	工場製作費		335. 0	kg			
	現場工事費		335.0	kg			
	運搬費		335.0	kg			
	シアナミド鉛サビ止め	HISK5625	37.7	m2			
	天井点検口	アルミ 450角	4.0	ヶ所			
	照明器具振れ止め		41.0	ヶ所			
	P∄†						
	計						

番号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金額	備考
Ш	樹木撤去工事ほか						
	仮囲い		1.0	式			
	清掃・片付け	ガードフェンス H1,800 30m程度	1.0	式			
	メタセコイア伐採	胸高直径≒1,000 樹高 40.0m 特殊伐倒吊切り					
	50tラフタークレーン		1.0	台			
	グレーチング部 車両進入路養生	5×10 t=22	4.0	枚			
	伐採手間	高所特殊作業員	1.0	式			
	伐採材 運搬	17.0m3程度	1.0	式			
	伐採材 処分費	5. 0t程度	1.0	式			
	飼育小屋屋根 撤去	折版葺 タイトフレーム共	33. 4	m2			
	廃材運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			
	P計						

番号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金 額	備考
	新設飼育小屋屋根 折版葺	カラーGL鋼板 t=0.8 ボルトタイプ	33. 4	m2			
	タイトフレーム		18.8	m			
	メッシュフェンス 脱着	H1,500 10m程度 基礎ブロック共	1.0	式			
	スロープ シーリング	10*10 1.8m*10か所	1.0	式			
	階段補修	蹴上モルタル塗 1段 W=1.0m	1.0	式			
	P #						
	計						

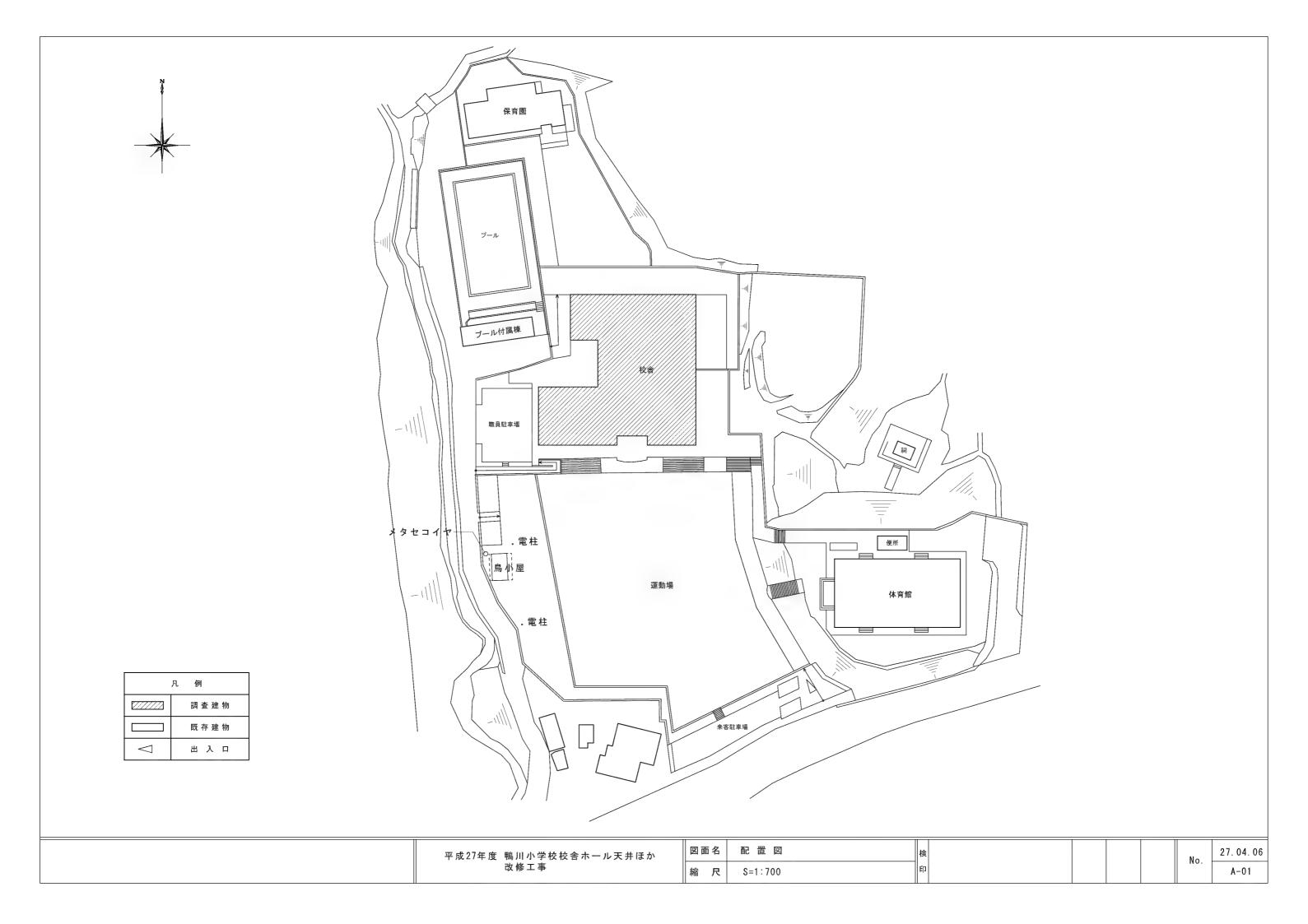
番号	名称	内容	数量	単位	単 価	金額	備考
2	電気設備工事						
I	電灯設備工事		1.0	式			
П	火災報知設備工事		1.0	式			
	計						
							1

番号	名	称	内 容	数量	単位	単価	金	額	備	考	12
I	電灯設備工事										
	エコケーブル		EM-EEF 1.6-2C ころがし	32. 0	m						
	エコケーブル		EM-EEF 1.6-3C ころがし	68. 0	m						
	エコケーブル		EM-EEF 2.0-3C ころがし	17. 0	m						
	エコケーブル		EM-EEF 1.6-2C (管内)	5. 0	m						
	エコケーブル		EM-EEF 1.6-3C (管内)	5.0	m						
	エコケーブル		EM-EEF 2.0-3C (管内)	10.0	m						
	ボックス類			1.0	式						
	照明器具		A LSS9-6800I	41.0	台						
	撤去工事			1.0	式						
	計										

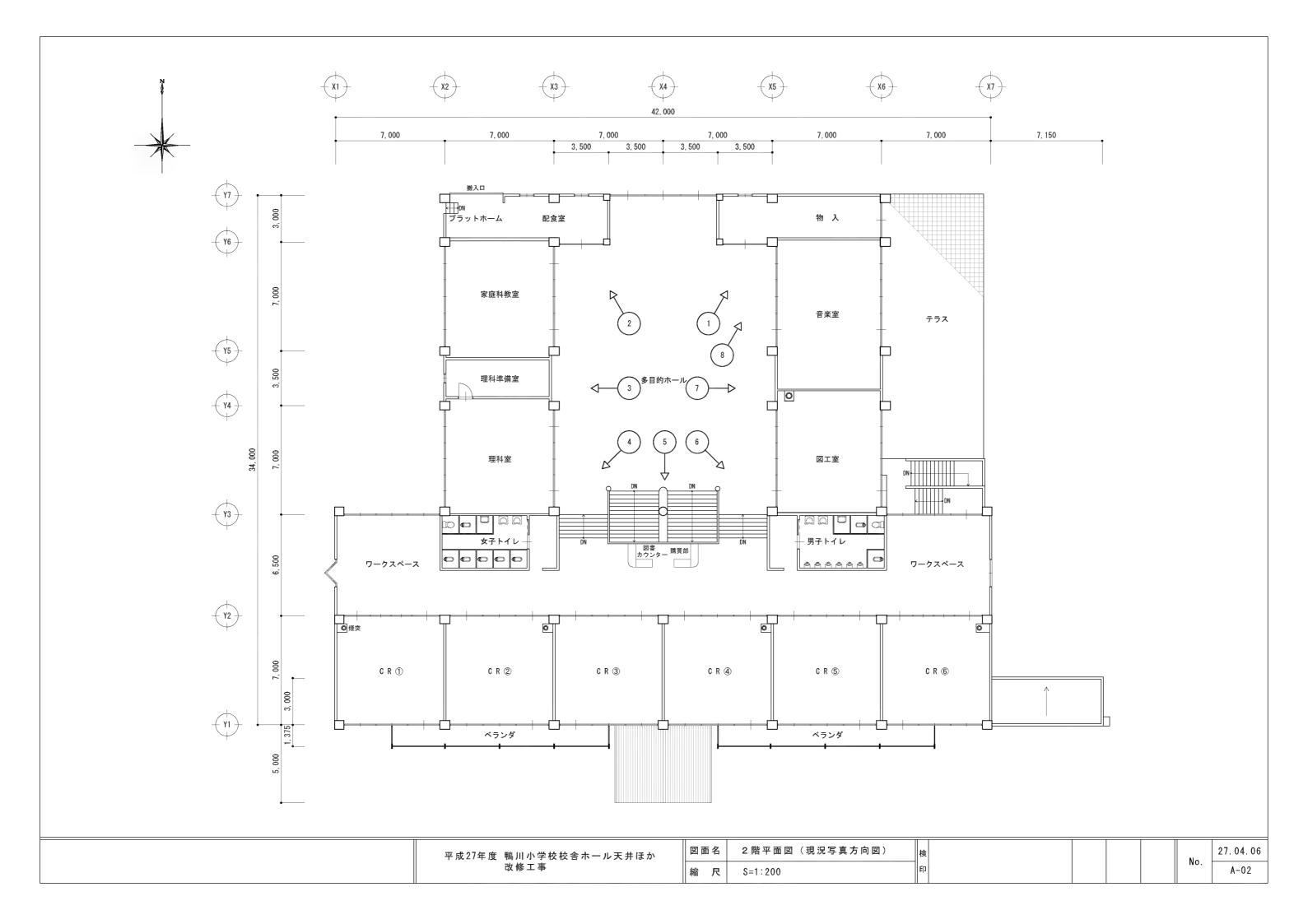
番号	名称	内 容	数量	単位	単 価	金	額	備	考
П	火災報知設備工事								
	ケーブル	AE 1.2-4C ころがし	52. 0	m					
	ケーブル	AE 1.2-4C (管内)	10.0	m					
	空気管	SSパイプ メッセン付	247. 0	m					
	感知器	差動式分布型 露出·1個	1.0	式					
	感知器	差動式分布型 露出・2個	1.0	式					
	立会検査費	P型1級	1.0	工事					
	撤去工事		1.0	式					
	計								

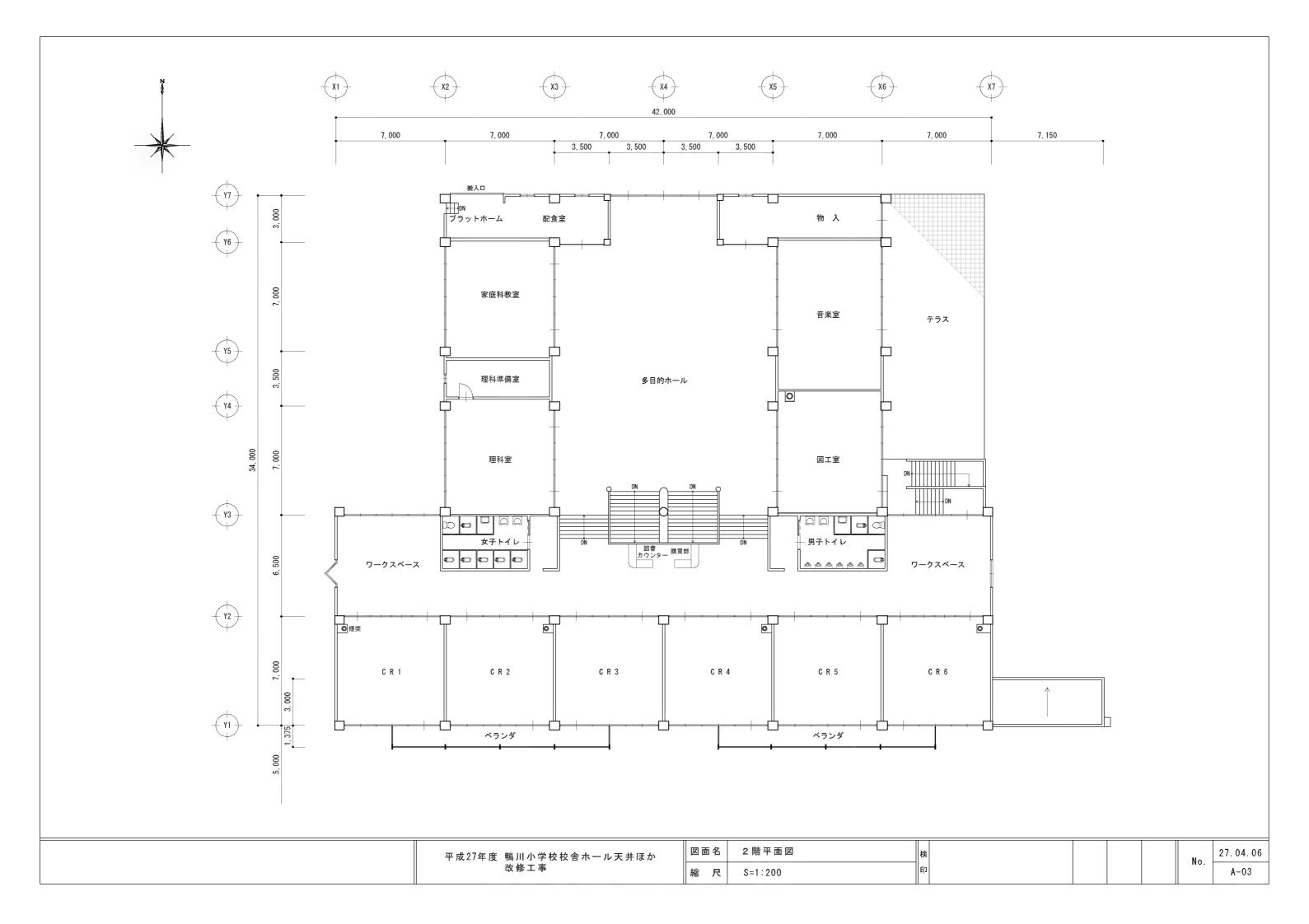
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事

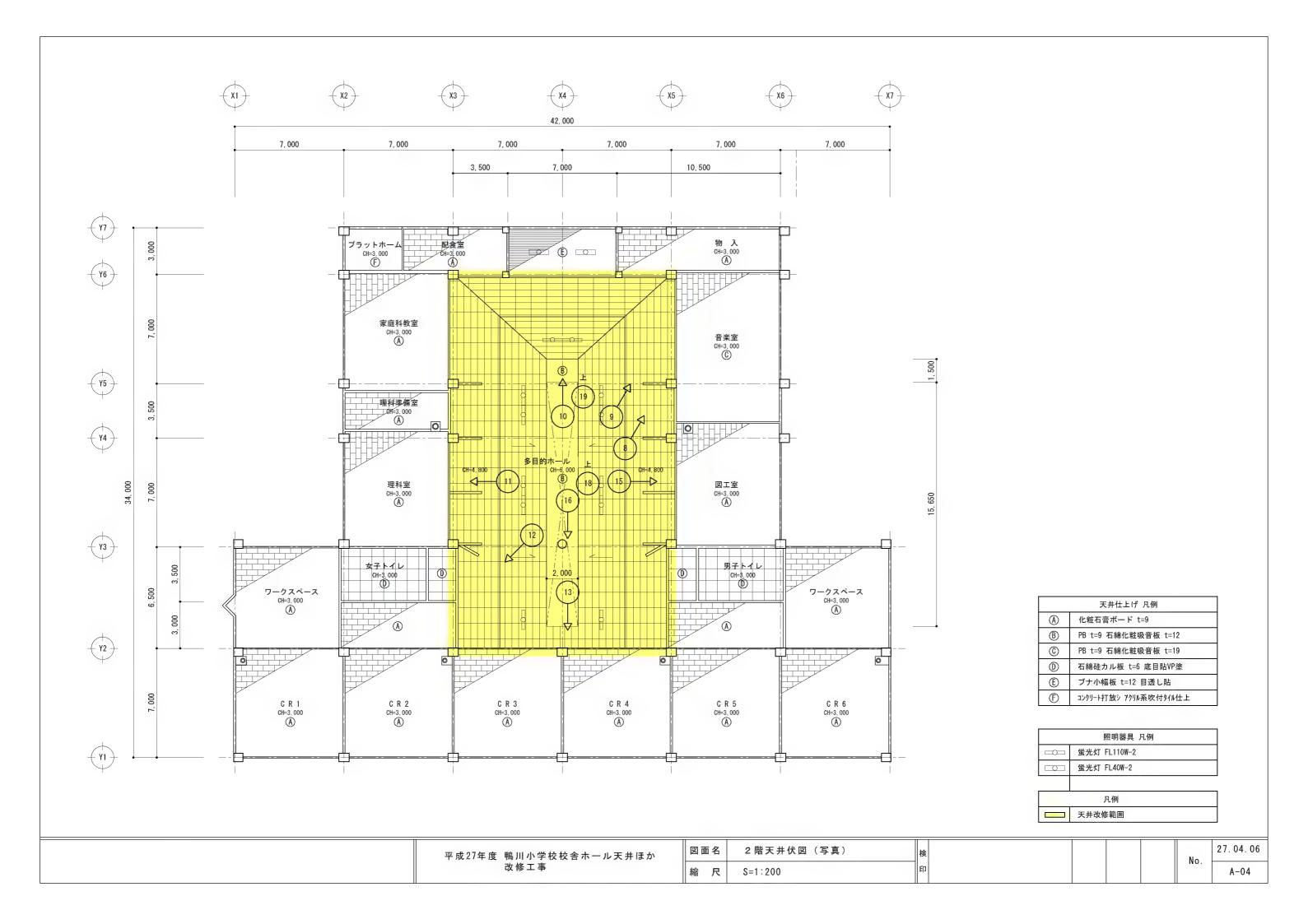
加東市

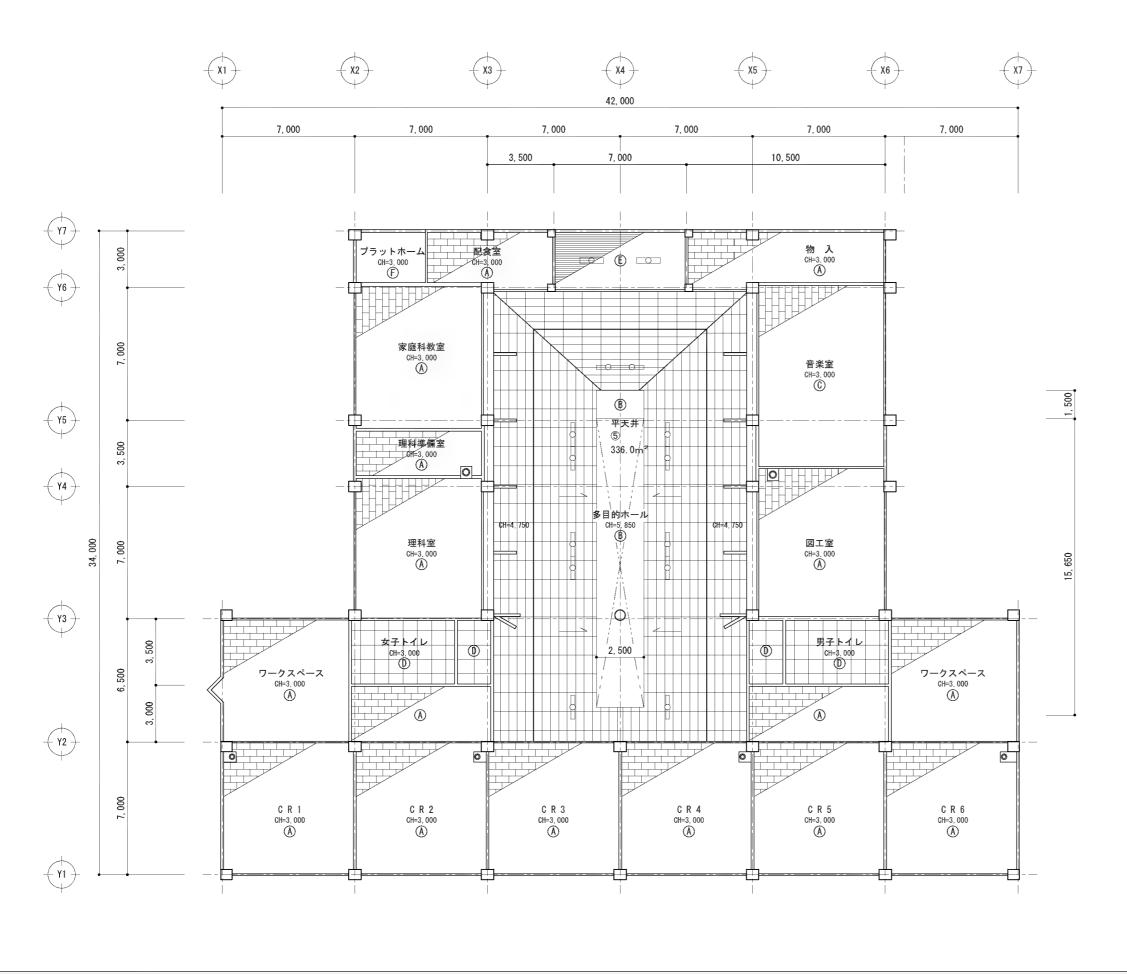


建築改修工事特記仕様 ※設計管章書先順位 (①埃羅西書 ②明園557書 ②神紀世母書 ④送計園 ②坂平世母書	12 建築基準法による 風圧力等の指定	(3.5.4)<3.9.3)<5.12.5>(13.2.3)(13.3.3) 適用工事 建築基準法の指定	3、1 アスファルト助水		(3.1.4)(3.3.3)(表3.1.1)(表3.3.3~10)	6 (改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 〈6.1.3〉 ・壁厚程度とし、置存仕上げに準じた仕上げを行う。	7, 1	防火材料	⟨7.1.3⟩ ○屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示の
1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共連 策改修工事模単仕様書(曼新版)」(以下、「改修標準仕せ審責」という。)による。ただし、「改修標準仕	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- 合成高分子系ルーフィングシート - アルミニウム笠木 - 新板屋根容 タ雷地域の指定 - 有・無	防	• D – 1 • D I – 1 • E – 1	700 - 300 771	内		・図示の範囲 天井内の既存壁の際去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ・壁面と小両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。	塗		あるものとする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。 ()
様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。) 版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様		- 可似在似路 - 金属版图模章 - ガラスブロック	水	アスファルトの種類 JIS K2207の		装		・図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修	装 2	対 請止塗料塗り	(7.3.2~3×表7.2.2~3×表7.2.1~4) 下 地 種別 下 地 調 警 塗 装 種 別
書」という。)による。なお、施工条件明示書は特配仕様書に含める。 2. 特配仕様	13 設計GL 14 施工調査	・図示 ・現状平均地盤高 施工数量調査 (1.5.2)	改	脱気装置 ・設ける 種 類 ・平面部脱気型 施工業者 防水層製品の	設けない立ち上がり部脱気型製造所又はその指定業者とする。	改	2 既存床の撤去	・既存のまま ・図示の範囲	改		- B種(見え隠れ) - B種 - BA種 - RA種 - RR種 - RC種 - A種 - B種 ○G徳 - (今郎の場合) - - 亜鉛めっき 新規雑具 - RA種 - BR種 - RC種 - A4章 - B種 - C種 - C種 - A4章 - B種
1)項目は、番号に〇印のついたものを適用する。 2)特記事項に〇印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。		・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 (1.5.3) 調査項目 調査 範囲 調査方法 成 果 品	16 2 仲縮調整目地 T 3 改賞アスファ	・成型伸縮目地(天端 EPTゴ。 改修工法の種別	ムシサイド ブチルゴム製) 〈3.3.2〉〈3.3.5〉 〈3.1.4〉〈3.4.3〉〈表3.1.1〉〈表3.4.1~2〉		・下地柵修 ・下地柵修 改修後の	既存床仕上げの除去方法 (6.2.2(a)) ・標準仕様書による。 〇当該を全体 図示の範囲 (6.2.2(c))	修		理新のつさ MRRE共 - KRAMM - KRAMM - KRAMM - CMM - CMM - CMM - CMM - MRM - CMM
○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載のく → () 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、 「様準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。				水 新規防水層の種別 改修工法の ・AS-1	種類 施 エ 笛 所 仕 上 塗 料 ・カラー	[]	床の清掃範囲	間仕切壁搬去に伴う他の構造体の補修方法 〈6.3.2(a)〉	事	合成樹脂調合 ペイント塗り	(7, 2, 2><7, 4, 2~5><表7, 2, 1~3><表7, 4, 1~3;
3. 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印のもので構成する。	15 技能士	・適用する (1.6.2)		・AS-4 ・ASI-1 脱気装置 ・設ける	・シルバー ・設けない <3.4.3>	,	· 下地補修 軽量鉄骨天井	<4.4.9)による・()野緑などの種類 <6.6.2><表6.6.1>		(SOP)	②B種(内部) ・C種 -2種 -2種 -2種
・構造特記仕様書 ○電気設備工事特配仕様書 ○機械設備工事特記仕様書 ○解体工事特記仕様書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(6) 工事経過記録	・適用しない ・適用しない ○工事経過報告書を、毎月1回監督職員に提出する。		施工業者 防水層製品の	・立ち上がり部脱気型 製造所又はその指定業者とする。		下地材	屋内 ・19型 ・25型 (室名:) 屋外 ・19型 ・25型 (インサート)			 鉃鋼面 新規 ○RA種 -RB種 -RC種 -A種 -B種 -C種 -2種
4. その他 石綿等の取扱いについては、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿	① 工事関係図書	(内容:日誌、天候、工事進歩状況、工事進歩状況写真、その他監督職員の指示する事項) ○下記に定める図書等を監督職員に提出し承諾を受ける。監督職員は下記に定める	4 合成高分子系ルーフィングシート以	改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の ・SM-2	(3.1.4)(3.5.3)(表3.1.1)(表3.5.1) 種類 施工箇所 仕上塗料 ・カラー			- 既存インサートを使用する ・ あと施エアンカーを設ける <6.6.4(a) あと施エアンカーの引抜き試験 ・行う <6.6.4(a)			亜鉛めっき 雄県塗替 - RA種 - RB種 - RC種 - A種 - B種 - C種 - 1種 鋼面 - B相 - BB種 - RC種 - A種 - B種 - C種 - 2種 塗替 - RA種 - BB種 - RC種 - A種 - B種 - C種
則」という。) を遵守すること。 5. 工事の概要 ・(1) 校舎多目的ホール天井改修	(提出書類)	る他、必要な図書の提出を求めることがある。 ○提出部数は各 2 部 ○工事者手届 ○現場代理人届 ○監理(主任)技術者届 ○コリンズ登録写		脱気装置・設ける	・シルバー ・設けない <3.5.3>			耐震性を考慮した補強 ・行うない - 行う(棚強方法と補強筋所は図示による) 制風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外軒天井等)	4	合成樹脂	<7. 2. 5~7><7. 10. 2><表7. 2. 4~7><表7. 10. 1>
・(1) 校舎を日的パールス升以際 ・(2) トップライト鋼板噴改修 ・(3)		 ○総合施工計画書 ○工種別施工計画書 ○実施工程表 ○下請業者承諾願 ○ 第正図等 ○ ○施工図等 ○ ○使用材料機等寻菜 ○ コンクリート詞合表 ○ 各種材料は放射機器 ② 工事日報 ○ 工事写真 ○ 工事記録報告書 		施工業者 防水層製品の	・立ち上がり部院気型 製造所又はその指定業者とする。		0 軽量鉄骨	割別低圧性を考慮した相当 (こロデイ、深か軒アメサラ)		エマルション ペイント塗り (EP)	下 地 種別 下 地 間 整 歳 練 種 別
章 項 項 目 特 記 事 項 1 ① 適用範囲 ②本仕様書は、道築物等の模様替え及び修繕(以下「改修」という。)係る建築工事に適用する。	18 完成時の提出書類	⊙工事完了届⊙引波書⊙保証書○保証書○その他関係書類一式(1.8.1><1.8.2><1.8.3>	5 塗膜防水	改修工法の種別 新規防水層の種別 改修工法の ・X-1	・カラー		壁下地材 1 体育館の	- JIS A 6519のJIS表示認証製品			押出成形 セメント板面 モルタル面 新規 ・RA種 ○RB種 ・RC種 ○A種 ・B種 ・C種 ○1種
· ② 適用基準等 ○建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁當縛部監修 最新版) ○ 建築構造設計基準 (国土交通省大臣官房官庁當縛部監修 最新版)		○作成する○完成図 (○意圧図 ・構造図 ○股備図 ・外構図 ・造成図)を提出。(○原図:設計図書の原図訂正を可とする。) 提出部数 1 部		· X - 2	・シルバー	1	鋼製床下地2ピニル床	JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2×6.8.3>			プラスター面 塗替 ・RA種 ○RB種 ・RC種 ・A種 ○B種 ・C種 石こうボード 新規 ○RA種 ・RB種 ・RC種 ○A種 ・B種 ・C種 ○1種
般 の 営繕工事写真撮影要領 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕総監修 最新版) ① 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示		○原図版2つ折製本 (A3版) (表紙文字入) 提出郵数2 部 ・ 縮小版2つ折製本(A3版)(表紙文字入) 提出郵数 部 ・ 縮小版2つ折製本(A4版)(表紙文字入) 提出新数 部			・設けない・立ち上がり部脱気型製造所又はその指定業者とする。		シート張り	種類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 - 発池層の FS ・無地 「2.0 特電防止・熱溶接 ないもの・TS・マーブル・2.5 帯動荷量・契付け			その他の ボード等の面 ・
共 に従うこと。 ○請負業者は、 ■督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な		○完成図面データ(CD) 提出枚数 1 枚 (完成図面データはJ懈形式又はDXF形式とする。)	6 シーリング材料(種別及び施工筒)	・<表3.7.1>によらない箇所及びシ	ーリング材料		3 ピニル床	・発泡層の あるもの ・KS ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	13 2	2 可動間仕切 (パーテーション)	構造形式による種類 スタッド式密閉形 (20.2.3) 構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
通 選歩をはかること。 ○施工体系図を現場に掲示すること。		・施工図 提出部数 2 部 ・保全に関する資料 提出部数 2 部	7 シーリング液体で	〈表3.7.1〉によらない箇所 故修工法の種別	シーリング材料 (3.1.4)<3.7.4~8><表3.1.2>		タイル張り	種 類	ᅵᅬ		バネル表面材 焼付塗装鋼板 (標準色) t=0.5以上 適音性 36dB以上 防火性能 不燃
事 項 ② エ事実機情報 ・適用しない <1.1.4>		- 官公署届出書類 - 建築物等の保守に関する説明書 - 主要な材料・機器一覧表		改修工法の種類 ・シーリング充てん工法 ・シーリング再充てん工法	施 工 箧 所			ビニル床タイル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	= 3	移動間仕切 (スライディングドア)	パネルの操作方法による種類 規定しない (20.2.4) パネル表面材の材質及び仕上 製造所仕様の化粧鋼板 (標準色) t=0.5以上
○ (CORINS)の登録 ○適用する (請負精算額が500万円以上の場合) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを		・機器取扱い説明書・機器性能は設成機書		・		1	4 ピニル床タイル ピニル床シート	- 帯電防止 - 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1.2~3.1程度 ワビ料理体 (JIS I 1023) 202以下	ا ^۳		バネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式 適音性 36dB以上 防火性能 不燃
行い、工事力ルテの受信書を、監督職員に提出すること。 (請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) (の下議契約の総額が4,500万円を超える場合は、施工体制合能及び施工体系図を提出する。	19 CADデータ 20 完成写真	○CADデータは(・有債 ○無債)で配布する。・作成しない○作成しない○作成する	8 50	・といの材種等 材 種	〈3.8.2〉〈表3.8.1〉〈表3.8.3~4〉 防震		の特殊機能	又は耐電圧 (JIS L 1023) 3ky以下 - 希電防止性終評極 (JIS A 1445) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 0.1×1010オーム未満	及 4	トイレブース	取り付け用あと施工アンカー 材質。寸法等は図示又は製造所の仕様による 表面材 メラミン化粧板 (20.2.5)
⑥ 発生材の処理等 の発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理および清掃 に関する法律、建設廃棄物処理指針、その他関係法令によるほか、建設副産物適		分類 サイズ 撮影機所数 郎 敷 提出様式 のカラー OL の写真撮影要領の ○1部 ○工事用アルバムA 4版 白黒 2 L 完成写真程度 ・ 部 ポケット式程度		 配管用鋼管(SGP) 硬質塩化ビニル管(VP) 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(REP- 	・〈表3.8.3~4〉により行う			- 帯電防止性総評価 (JIS A 1445) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1×107オーム未満 耐動品側	v		幅 ホ ステンレス製 H=60 フレーム アルミ製 軍 収 4 0 中心吊りアール形アルミ製エッジ.
正処理推進祭嗣に従い適切に処理し監督職員に報告する。 ②廃棄物の処理を委託する場合には、適勝と処分についてそれぞれの許可業者と「 建設廃棄物処理委託契約書」により書面で委託契約を締結しなければならない。		・日無 ・2 し 完成与具様医 ・ 部 ・ アットス種医 ・大切り ・ 箇所 枚 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)		特記無き限り既存のとい受け金 ・鋼管製種の防露巻き (・・	物を使用する。 (表3.8.4)による。) <3.8.3>(表3.8.4)			別期可報 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間罰離強度試験 (発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がない	そ 5	5 階段滑り止め	
また、契約締結後は速やかに建設後栗物処理委託契約書の写しより書面で委託契 約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃栗物処理委託 契約書の写しを工事監督員に提出しなければならない。	②1 設備工事との取合(・完成写真の撮影楽者は監督職員の承諾する撮影業者とする。 が 施工範囲 各工事の区分表による。	9 ルーフドレイン	・縦とい受け金物の取付け (・)・鋳鉄製・縦型・横型	るホ・) 〈3.8.3(h) ×表3.8.1>	1	5 視覚障害者用 床タイル	- C と。 - 対質 寸法(mm)	0	(ノンスリップ)	ビニールタイヤ入り (標約35mm) 取り付け方法 ・接着工法 ・埋込み工法
○産業廃棄物が委託内容どおり処理されたことを確認するものとして、「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」を使用しなければならない。また、運搬車両ごとに処	とり 放業工事との収拾し	・ 成工制度 ・ 対工事が応かる。 ・ 版 工 図	10 アルミニウム製笠		(3.9.2)(表3.9.1)(表5.2.2) 固定間隔 備 考	1	6 ピニル幅木	・塩化ビニル系 ・せつ器質タイル系 材種 ・軟質 ・軟質 ・溶接 (6.8.2)	11111		ステンレスFB (SUS304) t5~6×H12 (20.2.7) (床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)
分(中間処理)が済み次第、速やかに42原、日2原、0素の写しを工事監督員に提 出し、最終処分等については、確認出来次第、速やかに確認資料(E票等)の写し を、工事の発了に関係なく、工事監督員に提出するものとする。	② 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ○ 火災保険 - 建設工事保険 - 保険期間 ○ 工事着手から工事目的物引き渡しまで -			固定方法及び間隔 ・隅角部及び突当り部等 は品質計画で定め の役物は笠木本体製造 たもの 所の仕様による。		0 石こうボード	高さ (mm) ・6 0 ・7 5 ・1 0 0 厚さ (mm) ・1 . 5 ・2 . 0 〈6.13.2~3〉表6.13.1〉(表6.13.5〉	1 1	7 鏡 3 表示	・耐湿鏡 ・耐食鏡 (20.2.9) ・衝突防止表示 ステンレス製 H L 仕上げ Φ 3 O 程度 市販品 (20.2.10) ・態複雑館 市販品
 ○工事者手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、 工事監督員の承諾を得ること。 ○改正検査検索でに「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提 	② その他	○現場には必ず設計図・見積書・共通仕様書を各1部おいておくこと ○工事のため隣家、通行者、第三者等への損害。補償及び補俸は頭負者の負担とする。		・ 板材折曲げ形の取付工法 (・)	図示・)		その他ボード 張り	種類又は記号 種別など 厚さ (mm) 規格番号 ②けい酸カルシウム板 壁 ⋅ 8(不燃) JIS A 5430	事 9	点検口	・ 室名札: ピクトサイン(男子用・女子用・身障者用)
出すること 〇引き渡しを要するもの(〇現場において再利用を図るもの(○近隣に対して着工前に適切なる処置をなし、工事の円滑を計るようにする。 ○設計図書に指示ある事項であっても、施工者が適当でないと認めたものは、事前に訂正を申し出て、係員の指示・決定通り施工すること。適当でないと知り	11 防水保証	シート防水の保証期間は、引渡	ァルトシート防水及び合成高分子系ルーフィング しの日から10年間とし、施工業者との連名の保証 ては、メーカー・防水業者が通常定めている期間			0.8FK又は1.0FK - 12(不懲) 天井 ⊙ 6(不燃)			施工館所 村 種 寸 法 形 式 特 記 天井 ○アルミニウム製 ○450×450 ○日地タイプ 6600×600 ・ 額線タイプ
○両生資源化を図るもの ○コンクリート境 ・アスファルトコンクリート境 ○建設発生木材 ○金属類 ○グラ数 ○ガラス版		つつ施工してはならない。 ②工事用車輌の出入口には必要に応じ警備員を配置し、通行人や車両への配慮を	12 その他	として、作成し提出する。	(16, アン 別が水量が温雨だがくいる利用			- グラスウール ガラスクロス - 25(不燃) JIS A 6301 吸音ボード (JIS A 3414) (32K)			床 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般型貼物用 ・600×600 ・一般型充填用
で無機関 ピノブ類 ピハブス類 ・ 特別管理産業廃棄物 (図アスタ ・ 特別管理産業廃棄物 (図アスタ ・ 1		十分に行うこと。 ○周辺に配慮した仮設計画を作成し、係員の承諾を受ける事。 ○工事に必要な申請は請負業者が行う事。						(吸音材料)GW-B EP18程度) 誘線張り品 ○ロックウール化粧吸音板 ○ 内部用 普通 ・ 9(不燃) JIS A 6301	10	視覚障害者用 誘導ブロック	
③ 事故報告 ○工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通転するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員	2、① 仮囲い	○設けない ・設ける (・仮囲いの位置及び延長は図示による。)	5、1 一般事項	改修工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法	⟨5, 1, 3⟩	1		・ 軒天用 <u>○12(不燃)</u> 立体 ·12(不燃)		1 録箱	歴外 ・塩化ビニル製 ・磁器又は炻器質タイル ・レンジコンクリート製 形式 (・3 0 組用 ・6 0 組用 ・ 1 2 0 組用 ・)
「提出する。対料の品質等√1.4.2〉	仮	・仮囲い (・ガードフェンス H= 1.8 m ・ H= m) ・門 (・キャスターゲート・パネルゲート) W= 6.0 m×H= 1.8 m	建	新規建具周囲の補修方法及び範囲 見本の作成等	<5. 1. 5>			- 19(不燃) - 19(不燃) JIS A 6901	12		材質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受け枠) ・ステンレス製 (受け枠共) ・ビニル製 (ステンレス製受け枠)
○本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料に引き又はいめのマークの表示のある場合を除いて監督器員の承諾を受ける。 特定のものが特配された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等	設 ² 危険防止 丁 ③ 交通誘導員	・シート張り・金桐養生枠・配置しない	具	製作 ・行わない ・行 仮 組 ・行わない ・行 防犯建物部品 ・使用しない ・行	う(建具表による)			(せつこうボード製品) GB-R (元年) (012.5(不燃) - 15(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃)	13	3 流し台ユニット	・硬質アルミニウム製(受け枠共)・ ・参考メーカー()
のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ②現場に搬入した材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。 理途への配慮 〈1.4.1〉	± 0 +*±=*	○配置する(日×人=人日)・設置しない	「CX 5 銅製軽量建具 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	簡易気密型ドアセット ※使用する(適用箇所は図示によ	- సే			12.5 (不燃)			種類 寸法 (L= mm) 適用内容 ・流し台 ・ トラップ付 ・コンロ台 ・ バックガード有り
◎本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「国等による環境物品等の 調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に留意し、揮発性有機化合物の放	⑤ 足場その他	○設置する (設置枚数 1 枚) (2.2.1)<表2.2.1>(表2.2.1>(表2.2.2.2)	ī	気密性 ・ A - 3 ・使用しない				(せっこうボード製品) GB-S の化粧セっこうボード トラパー 天井 ○ 9.5 (不燃) JIS A 6901			・レンジフード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
数による健康への影響に配慮する。 〇ホルスアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。		○内部足場 種別 (○脚立、足場板) の外部足場 種別 (へ種 ・日種 ・C種 ・D種) ・防護シートによる養生 (・設ける ・設けない)	事	戸の鋼板 - 表面処理亜鉛め ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板				(せっこうボード製品) チン模様 GB-NC		4 洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合 該当する建築材料 1) JIS及びJASのF立立立立品		○材料、搬去材等の運搬 (・A種 - B種 ・ C種 - D種 ・ E種) ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省 平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手ずり先行工法によ	7 木製建具	標準型鋼製軽量建具 標準型鋼製軽量建具の小窓枠。が 油品社の加工・銀合性の企业中	 使用する ・使用しない 〈5.4.6〉 らり ・鋼製 ・アルミ製 ・A種 ・B種 ・C種 (16.6.2~4) 			・化粧せっこうボード 木目模様 壁 ・9.5(準不燃) JIS A 6901 (せっこうボード製品) 木目模様 壁 ・12.5(不燃) GB-D (要換付き) 天井・・9.5(準不燃)	15	5 その他	奥行寸法 (mi) - 450 - 600
2) 建築基準法施行令第20条の7厘4項による国土交通大臣認定品 3)次の表示のあるJAS適合品		る足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関す る基準」によること。	/ 小女娃兵	かまち戸の樹種 かまちは杉上川 ふすまの上張り ・新鳥の子程月	い節程度 桟, 鏡板は杉無節程度 ま又はビニル紙程度			(数(性)) 人			・天井見切り緑 ・アルミ既製品 ・ピニル既製品 ・木製 (図示による) ・ピクチャーレール ・天井用 ・壁用 (フック書: 個/m) ・手すり ・別紙図面による。
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用b. 接着剤等不使用c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用	(6) 養生		8 建具用金物	ふすまの種類 ・戸ふすま 金物の種類	・在来型 ・チップ型 <5.6.2><表5.6.1> 型式 製造所			せっこうボードの目地処理 ・細目処理工法 ○突き付けV目地工法 ・突き付け工法 ・目透し工法			- カーテン ・
d. ホルムアルデヒドを放散させない参料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系機制及びホルムアルデヒドを放散させない参料使用 i 室内の空気中 ・ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.6.9) (1.5.9)		 既存ブラインド,カーテンの等養生及び保管 (・行う: ・行わない)保管場所 (・モノロック ・本締り付きモノロック ・シリンダー箱錠			1 遮音シール材 2 壁紙張り	・アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド 〈6. 13. 2〉 〈6. 14. 2〉			・建樹石 ・頻影石 400×500×30 (文字彫込み共) ・消火器 ・ABC粉末10型(加圧式) ・消火器収納ボックス ・全埋込整 ・半埋込型 ・振雷型 ・壁掛型
の化学物質濃 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測 度の測定 定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所	7 仮設開仕切り	・設けない ・設ける(図示)		・シリンダー本締り錠 ・ドアクローザー				施 工 笛 所 品 質 防 火 種 別 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他			・郵便受け・車止め支柱
の定める仕様により行う。 - 画定対象物質 - ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μg/m3 ・ 0.08ppm)		仮設開仕切等の種別		・フロアヒンジ ・ヒンジクローザー 内 M ・ピボットヒンジ	J1S表示認証製品			・不燃 ・準不燃 ・その他 ・不燃 ・準不燃 ・その他			- 屋外掲示者 - ・フェンス
 スチレン (満度指針値 220 μg/m3 · 0.05ppm) トルエン (濃度指針値 260 μg/m3 · 0.07ppm) エチルペンゼン (濃度指針値 3,800 μg/m3 · 0.88ppm) 		- B種 ②木下地 - 石雲ボード(・) 厚さ 30 mm ・片面 - ○ 日本 ・単管下地 ・防炎シート			-長さ L=130程度	2	3 タイル張り	タイルの建設 6.16.3〉 施工箇所 形状寸法 さ じ うわ薬 役物 色 再生料利用 債 考 (mm) 磁器[陶器/ 伝報]施程/無額 有 無 標準注文 タイル			・ リテンへ ・ 門尿 ・ タイヤ止め
・キシレン (濃度指針値 870 μg/m3 · 0.20ppm) ・パラジクロロベンゼン (濃度指針値 240 μg/m3 · 0.04ppm) ・測定する室等: ()	8 監督職員事務所	・頻製原 ・片面フラッシュ程度 ・あり O設けない (請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1>		標準型期製建具及び標準型軽量期 シリンダー箱錠は公共工事標準型 マスターキーの作成 ・要				浴室 床 150角 〇 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			・U型側溝 ・グレーチング
・摂取方法・吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。 ・ 腹下熱果等報告書の提出 次の事項を配数した報告書を 2 部提出する。		・設ける (規模 ㎡程度) (請負者事務所とⅢ様 ・可 ・否) (備品)	13 ガラス	・不要(既・外部の建具に使用するガラスは、	存マスターキーで施解欄可能とする。) 、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。			3/1/の資本機舎 ※行わない ・行う 内接タイルの工法 (6.16.5)<表6.16.5) ・積上17億9 施工箇所()			· 遊具 ·
 源定結果 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、 	9 工事用水	標内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(○有償 ・無償)		ガラスの留め材	の種類等は建具表及び図示による。	2	4 セルフレベ	・接着剤張り 施工箇所 () 種別 ・石こう系 ○セメント系 <6.17.2~3>			・敷地境界石標 石様の種別 (※B種 (コンクリートブロック製市販品程度))
測定年月日・時間、第の期間状況、機能換気差、工事完成時から測定日までの日敷) ・試料採取力法、測定方法、使用した測定機 ・測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引激は受けない。	① 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(〇有價 ・無價) ・溶接などの消費電力の大きな機器を除く		・シーリング ・ガスケット 防火戸のガラスの留め材は建築基 ガラスの濱幅については、〈表5.12	(可動アルミ建具に限る)準法の認定を受けたシーリング材とする。2.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス		リング材塗り	塗厚 • 10mm ○15mm~			
・総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定か所等については、末尾に定める総揮発性有機化合 物測定仕様義による。	① 工事用通路 ② その他の仮設	・指定しない ○指定する (図示) ○その他必要に応じ対応のこと。		及び倍強度ガラスの溝幅は図示に	よる。 日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。						
・室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。	(3) その他	・ の騒音の発生する工事は、原則土日祝に行なわないこと。但し、施設担当者との 協議しだいでは工事可能とする。	14 その他	飛散防止フィルム貼							
① 特別な材料の工法 「改修標準化体書」及び「欄準化株書」に記載されていない特別な材料の工法は、 当該製品の指定工法とする。		○工事上撤去、移設を要する経験なものは、本工事の範囲とする。 ○工事施工にあたり、付近住民・通行人・工作物に損害を与えないよう必要な保護 設備を計画し保員及び各関係人の承諾を得て施工する。万一損害を与えた場合									
		は速やかに応急手当、復旧しこれに要した費用は請負者の負担とする。 ○その他図示及び現場指示事項による。 ・									
		1.						网 东 夕			<u> </u>
					平成27年度 鴨川小学校校: 改修工事	舎ホー	ル天井ほか	図面名 建築改修工事特記仕様書 縮 尺	東 打		No. 27. 04. 06 A-01-1
								TIM /			※図売車10歳日は42年間の場合の線目します









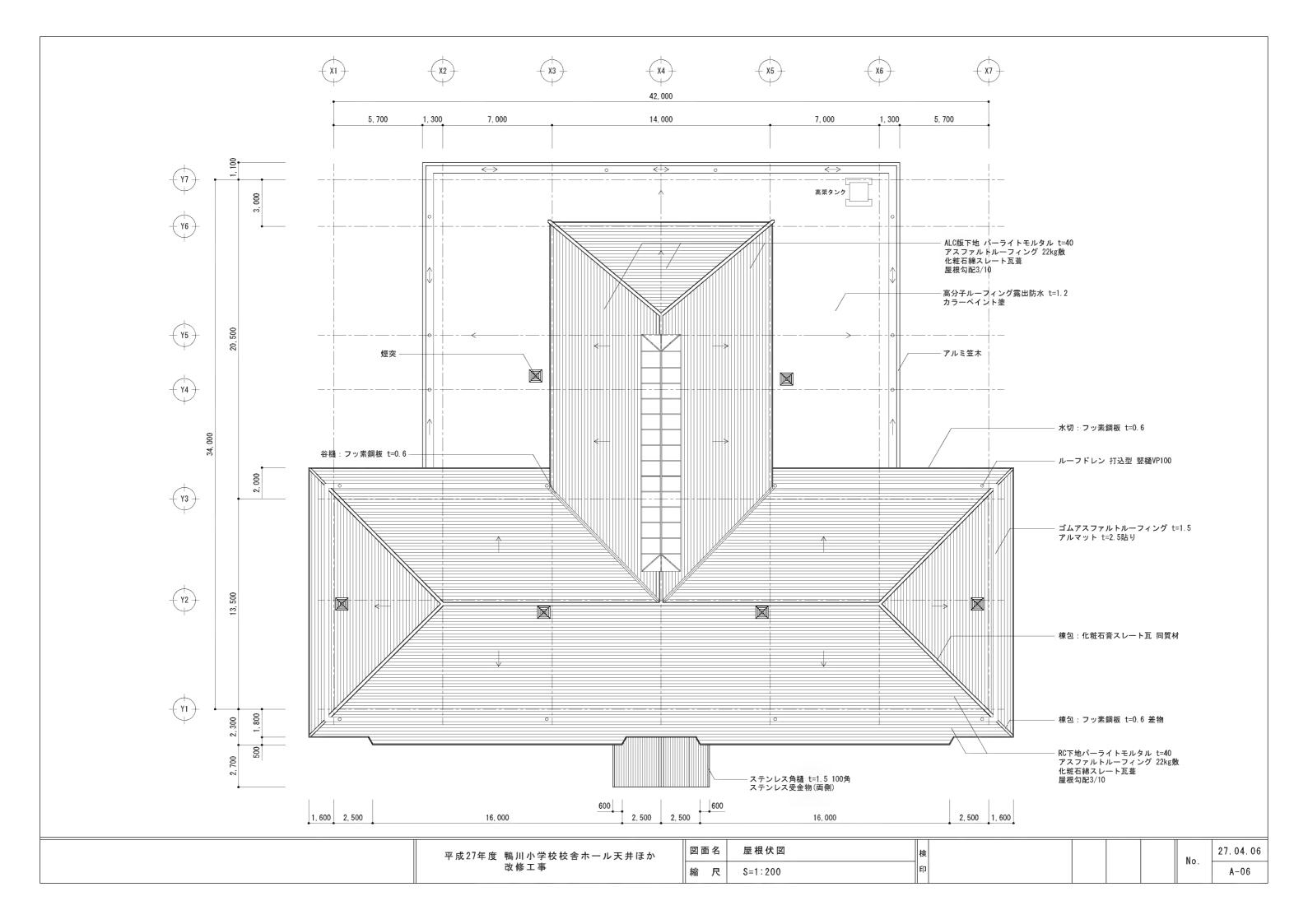
	天井仕上げ 凡例						
A	化粧石膏ボード t=9						
B	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=12						
©	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=19						
0	石綿硅カル板 t=6 底目貼VP塗						
(Ē)	ブナ小幅板 t=12 目透し貼						
Ē	コンクリート打放シ アクリル系吹付タイル仕上						

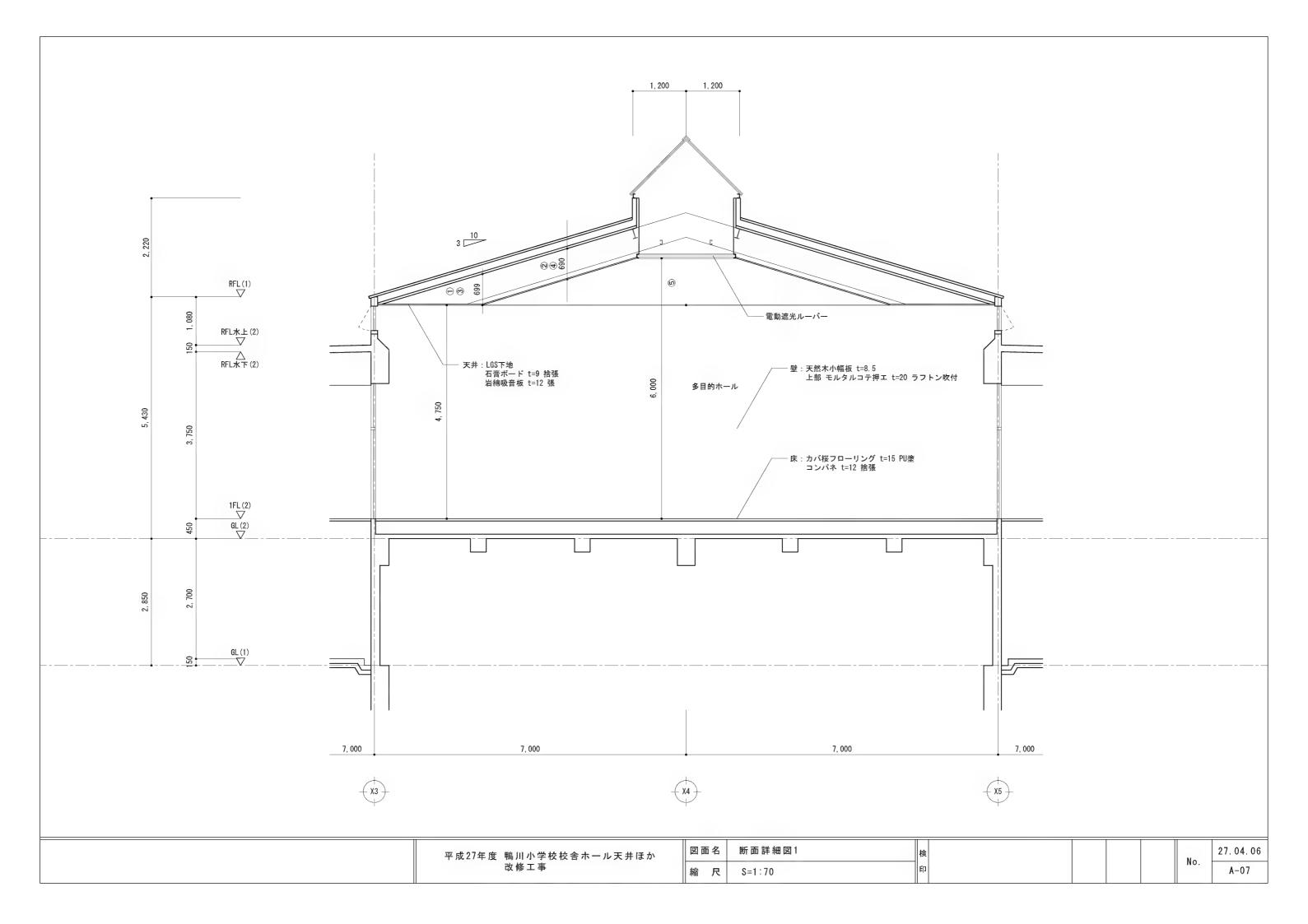
	照明器具 凡例
	蛍光灯 FL110W-2
	蛍光灯 FL40W-2

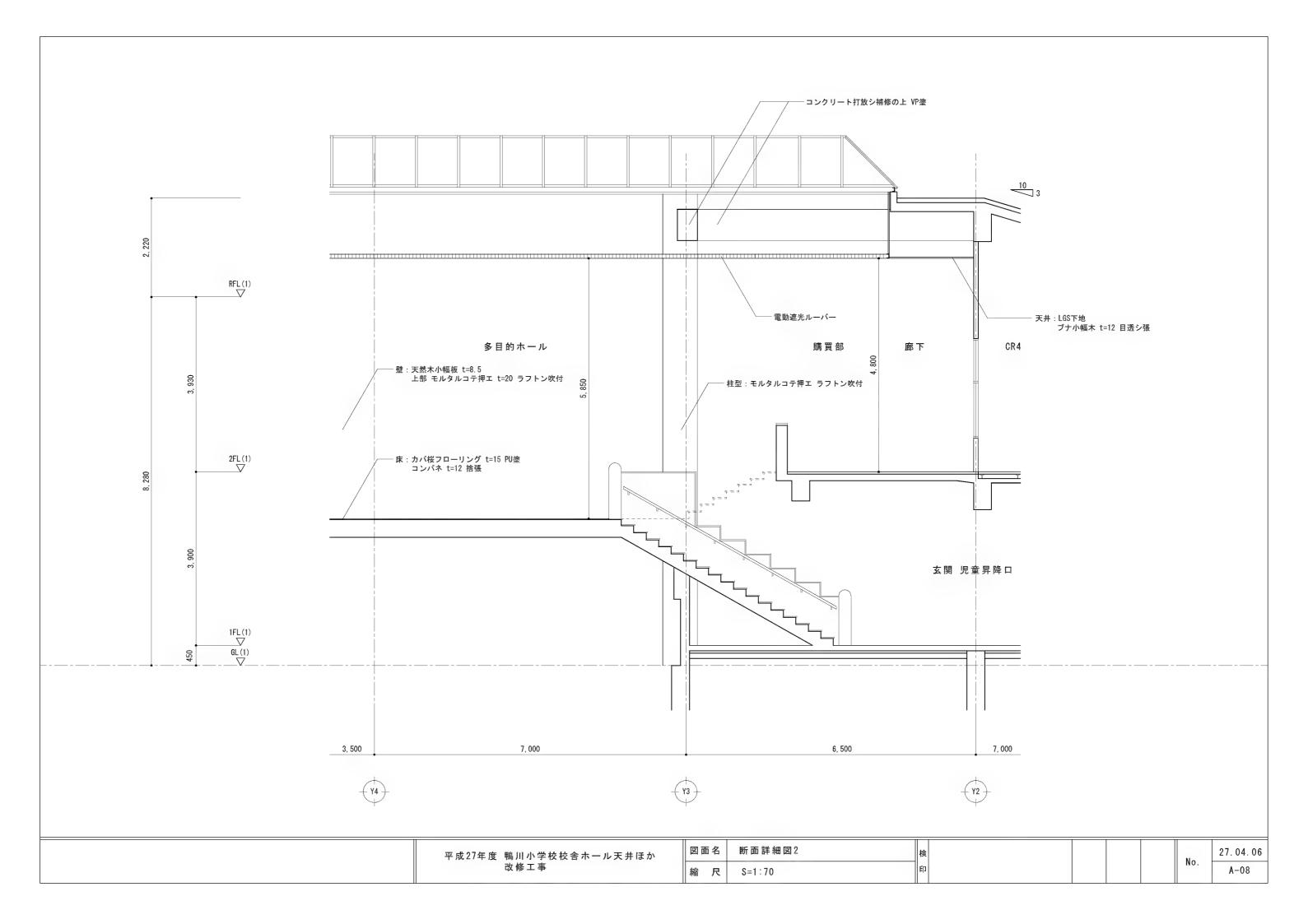
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか 改修工事

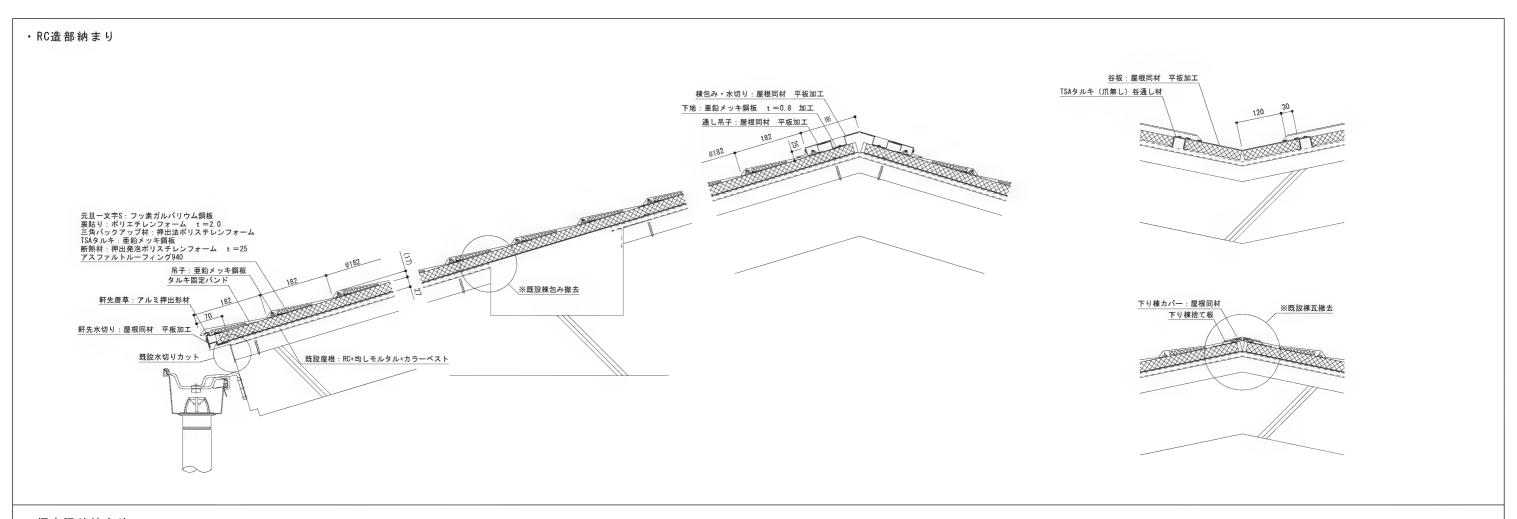
図面名	2 階天井伏図	
縮尺	S=1:200	

No. 27. 04. 06 A-05

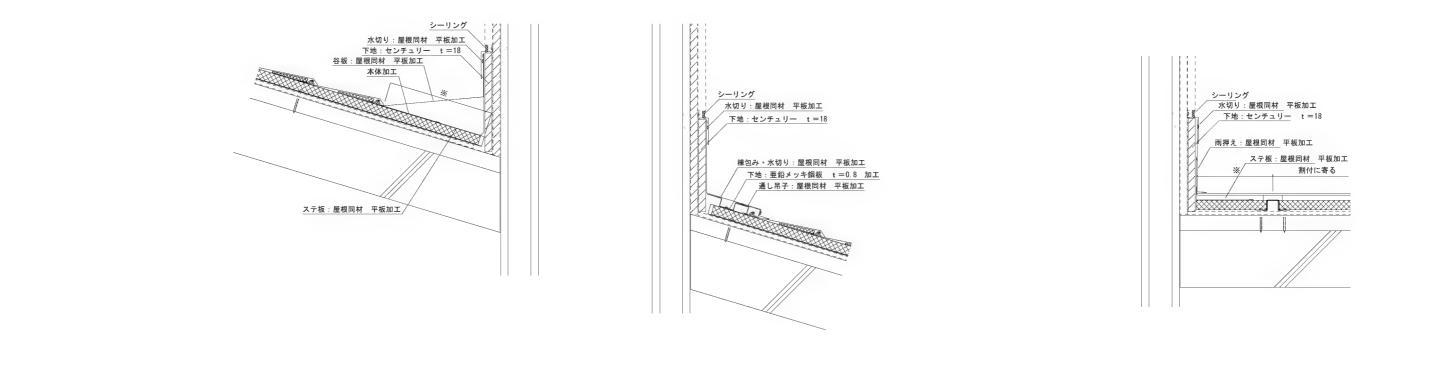








・煙突廻り納まり



平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか

改修工事

図面名

縮尺

天井詳細図1

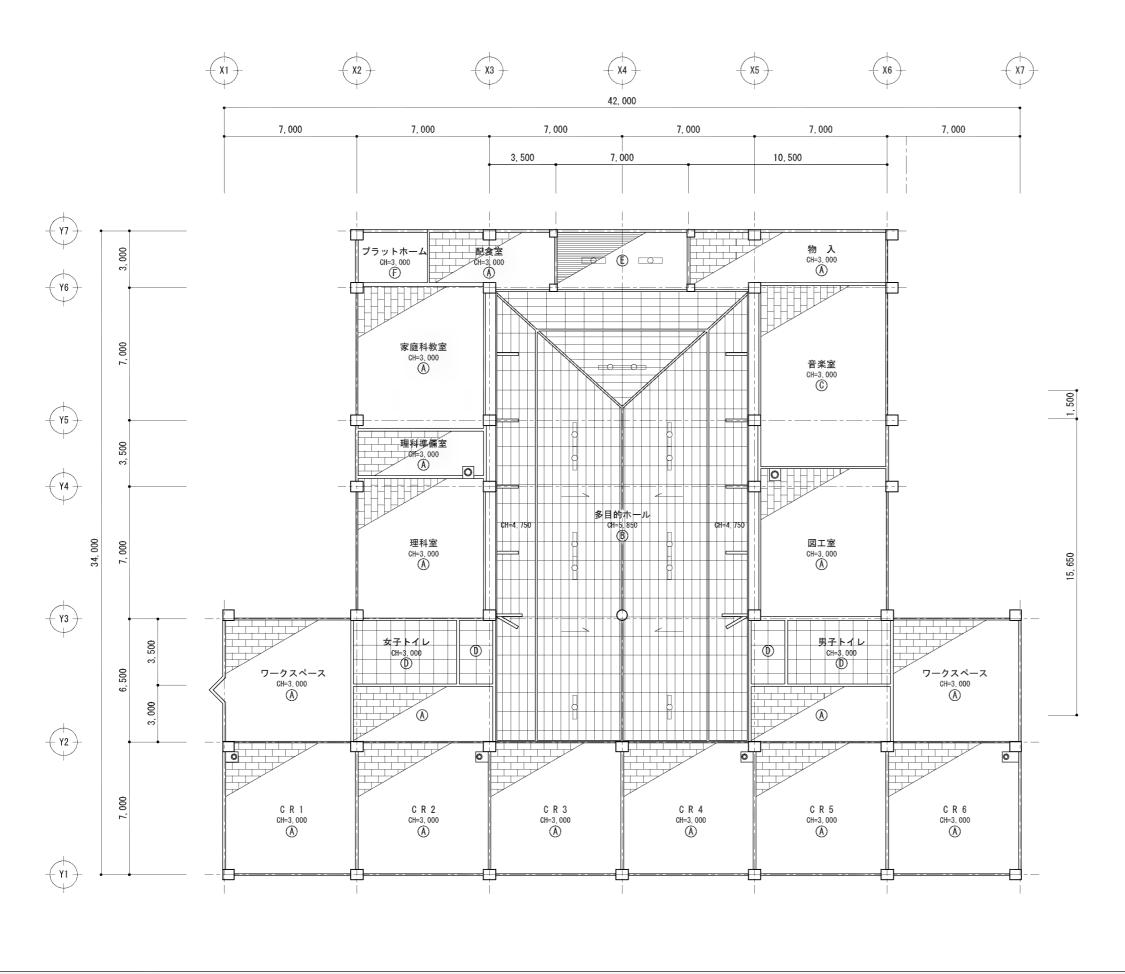
S=1:10

27.04.06

A - 09

No.

S造部納まり 棟包み・水切り:屋根同材 平板加工 下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 通し吊子:屋根同材 平板加工 元旦一文字S:フッ素ガルパリウム鋼板 裏貼り:ポリエチレンフォーム t = 2.0 三角パックアップ材:押出法ポリスチレンフォーム アスファルトルーフィング940 野地板:複合板(センチュリーt18+断熱材t25) 吊子: 亜鉛メッキ鋼板 既設トップライト枠 ※ガラス撤去 元旦一文字S:フッ素ガルパリウム鋼板 裏貼り:ポリエチレンフォーム t =2.0 三角パックアップ村:押出法ポリスチレンフォーム アスファルトルーフィング940 野地板:複合板(センチュリーt18+断熱材t25) 棟包み・水切り:屋根同材 平板加工 下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 腰折れ部補強下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 既設アルミサッシ 吊子:亜鉛メッキ鋼板 本体カット 壁下部見切:屋根同材 平板加工 既設トップライト枠 ※ガラス撤去 ステ板:屋根同材 平板加工 吊子:亜鉛メッキ鋼板 既設立上り:カラーベスト タルキ固定パンド TSAタルキ: 亜鉛メッキ鋼板 割付による 棟包み・水切り:屋根同材 平板加工 下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 腰折れ部補強下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 既設アルミサッシ 本体加工 棟包み・水切り:屋根同材 平板加工 下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 元旦一文字S:フッ素ガルバリウム鋼板 裏貼り:ポリエチレンフォーム t = 2.0 三角パックアップ材:押出法ポリスチレンフォーム アスファルトルーフィング940 TSAタルキ:亜鉛メッキ鋼板 断熱材:押出発泡ポリスチレンフォーム t = 25 ALC用固定金具/ ※既設棟瓦撤去 \IIハンガー 通し吊子:屋根同材 平板加工 ──、 、既設屋根:ALC+均しモルタル+カラーベスト 既設立上り:カラーベスト 唐草:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 28 棟包み・水切り:屋根同材 平板加工 下地:亜鉛メッキ鋼板 t=0.8 加工 通し吊子:屋根同材 平板加工 元旦一文字S:フッ素ガルパリウム鋼板 裹貼り:ポリエチレンフォーム t=2.0 三角パックアップ材:押出法ポリスチレンフォーム アスファルトルーフィング940 TSAタルキ:亜鉛メッキ鋼板 タルキ固定パンド ALC用押え金具 断熱材:押出発泡ポリスチレンフォーム t = 25 吊子:亜鉛メッキ鋼板 タルキ固定パンド ALC用押え金具 軒先唐草:アルミ押出形材 軒先水切り:屋根同材 平板加工 _Iĭハンガー 既設屋根:ALC+均しモルタル+カラーベスト ∖ ITハンガー 図面名 天井詳細図2 27.04.06 平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか No. 改修工事 縮尺 S=1:10 A-10



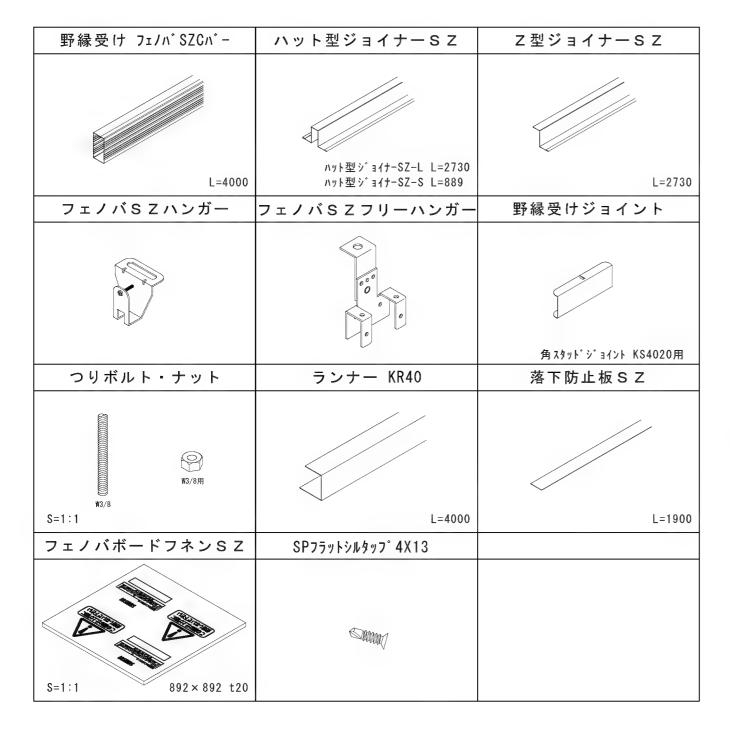
	天井仕上げ 凡例
(A)	化粧石膏ボード t=9
B	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=12
©	PB t=9 石綿化粧吸音板 t=19
(1)	石綿硅カル板 t=6 底目貼VP塗
(Ē)	ブナ小幅板 t=12 目透し貼
(Ē)	コンクリート打放シ アクリル系吹付タイル仕上

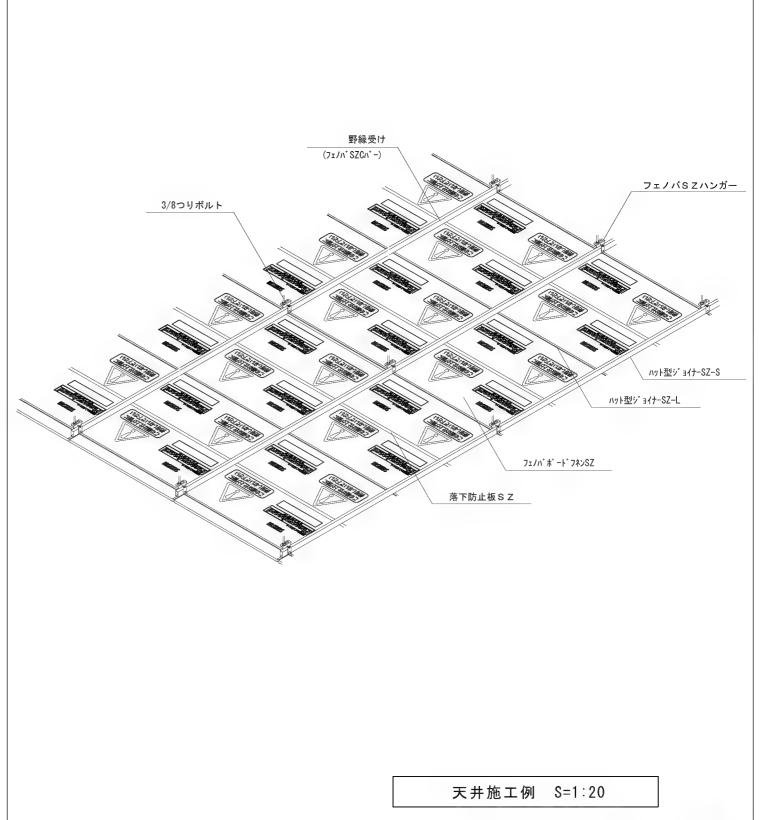
	照明器具 凡例
	蛍光灯 FL110W-2
	蛍光灯 FL40W-2

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか 改修工事

図面名	計画 2階天井伏図	検
縮尺	S=1:200	ΕŢ

No. 27. 04. 06





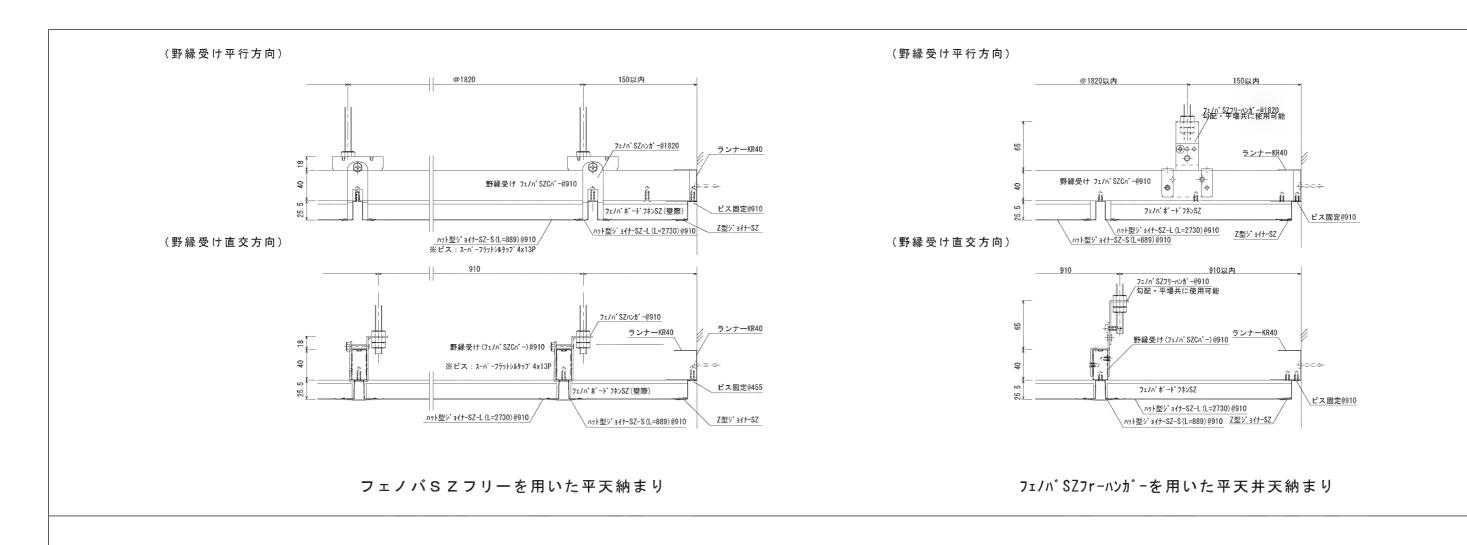
部材一覧 S=1:6

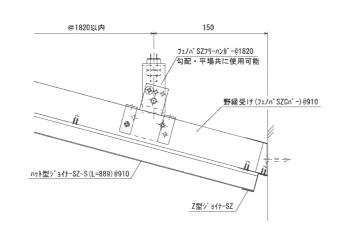
※詳細納まりは施工図作成により係員と協議

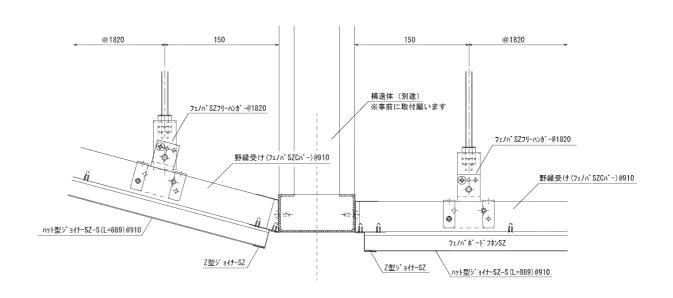
平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか 改修工事

図面名	標準図1	検	
縮尺	S=1:10 1:20	印	

No. 27. 04. 06



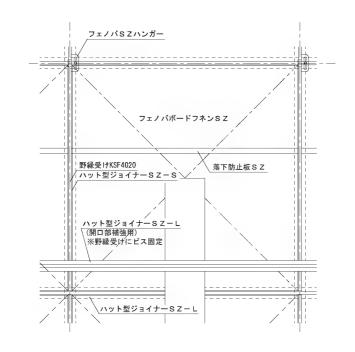


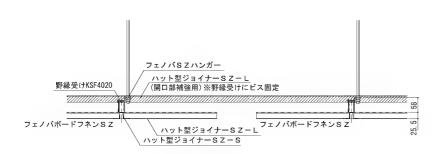


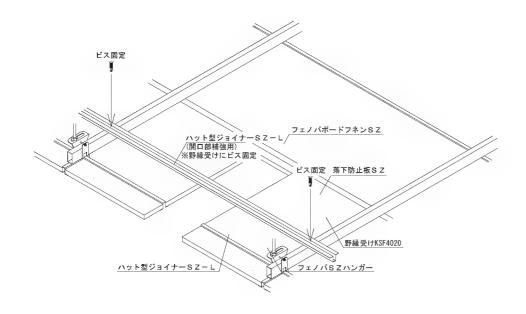
勾配-平天井取合い① (構造体拘束納まり)

※詳細納まりは施工図作成により係員と協議

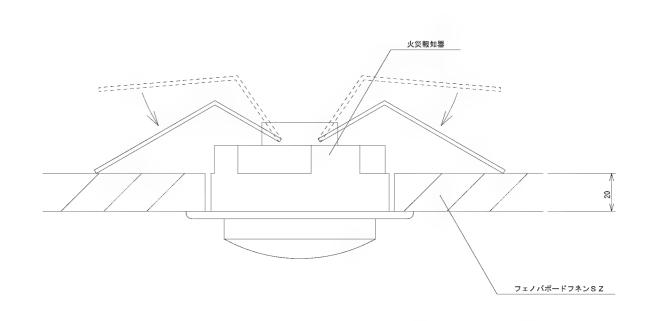
	平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか	図面4	名	標準図 2	検			No-	27. 04. 06	
改修工事	縮り	₹	S=1:5	印	ED .			A-13		



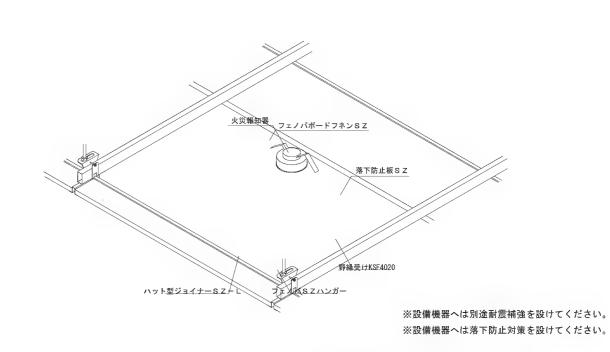




ハット型ジョイナーSZカット部分補強方法 S=1:15



火災報知器納まり図 S=1:2



火災報知器納まり図 S=1:15

※詳細納まりは施工図作成により係員と協議

平成27年度 鴨川小学校校舎ホール天井ほか 改修工事

図面名 標準図3 縮尺 S=1:5 S=1:15

27.04.06 No.

A - 14

工事名称 : 鴨川小学校校舎ホール天井ほか改修工事	特記事項		凡例			
工事場所 : 別紙による	- 機 材 設備機材等は指定品、もしくは同等品以上とす。	る。但し同等品以上とする場合は、係員の承諾を受ける。		電灯盤	別図参照	既設
工事種目	- 電力 水 本工事に必要な工事用電力、水 及び諸手続き、	・ ・申請などの費用は全て請負業者の負担とする。				
1. 電灯 設備工事 1式 -	ー 色彩の指示 係員の指示に依る。		=0=	照明器具	別図参照	
2. 火災報知 設備工事 1式	ー 電 線 特配なきものは、600∨耐燃性ポリエチレン:	 絶縁電線(EM-I'E/F)とする。	•	埋込スイッチ	大角型 1P15A	既設
	- 電 線 管 特記なきものは、合成樹脂可とう電線管 (PF)	とする。				
優先順位 (設計図書の優先順位は下記による。)		_	<u> </u>	感知器	光電式スポット型 2種	
(1) 現場説明書、質疑回答書 (2) 特記仕様書 (3) 設計図 (4) 標準仕様書	- 呼び線 空配管には1.2mm以上の被覆鉄線を挿入し、	・ 行先表示札を取付のこと。				
(5) 上記いずれも記載なき場合、不明の場合は係員の指示による。	・	_	-			
	支持材 屋外での配管支持材、ビス等は、原則としてス・	テンレス製とする。	_			
工事仕様						
1. 電気設備技術基準 2. 電力会社内線規程 3. 建築基準法・消防法						
4. 国土交通省大臣官房官庁管繕部「公共建築改修工事標準仕楼書(電気設備工事編)」(最新版)	共通仕様					
5. 国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」(最新版)	廃棄物の処理					
6. 各諸官庁規則	産業廃棄物は法令に従い適切に処理し工事ごとにマニュフェストで管理	すること。A・B2・E(D)栗のコピーを提出すると				
	ともに、集計表を作成すること。以下の廃棄物はそれぞれの指示に従う	تك.				
	1. PCB使用機器					
一般事項	撤去品にPCB使用機器がある場合は監督員が指示する方法で現場に一	時保管すること。	-			
1. 設計図書 (現場説明書・質疑回答合む) に明記ない場合又は質疑が生じた時は係員と協議しその指示に従うこと。	2. イオン化式感知器					
2. 工事施工に、必要な官公庁への手続き申請は速やかに行い、それに伴う費用は請負業者の負担とする。	イオン化式感知器を廃棄する際には「放射性同位元素等による放射線障	害の防止に関する法律」に基づき、感知器の製造者に送付すること。				
3. 施工済みの部分・未使用機器材料で損傷 又は汚染の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行うこと。	製造者が現存しない場合は(社)日本アイソトープ協会へ送付すること	。(アイソトーブ部業務2課)				
4. 施工に先立ち関係工事業者と打合の上、工程表を作成し係員の承諾を受けること。						
5. 施工図・機器製作書・製作仕様書・見本等は速やかに提出し承認後、施工・製作のこと。						
6. 係員が指示した事項 又は協議した事項については記録し係員に提出する。尚係員が施工が適切な事を証明する						
必要があると認め指示した場合は、工事写真・見本・試験成績表等を提出のこと。						
7. 工事が完成した時は係員立会の上、各種試験・検査を行い関係官庁の検査合格を以て竣工とする。						
8. 防火区画等の貫通						
消防法による区面(共住区面)貫通処理については、(財)日本消防設備安全センター評定による事。						
建築基準法による区画貫通処理については、 国土交通大臣認定工法による事。						
9. 提出書類						
竣工時に於いて、下記の書類・図面等を提出すること。						
1) 工事写真 1部 2) 竣工図(製本) 原寸1部 A 3縮小版2部	メーカーリスト					
3) 完成図書 (内容は下記のとおり) 2部	電線ケーブル	JIS・JCS規格品				
①機器取扱説明書及び保証書 ②各種試験成績書 ③機器完成図	興製電線管、付属品	JIS規格品				
④予備品・消耗品リスト ⑤官公庁等届出書類 ⑥マニフェストの写し	合成樹脂電線管、付属品 (可とう管、波付管含む)	JIS規格品				
	配線器具	JIS規格品				
	配分電盤、端子盤、分配器函 〔国土交通省仕様〕	かわでん、河村電器産業、下平電機製作所、ダイシン電機、大日製作所	東芝ライテック、内外電機、日東工業、	パナソニック		
	照明器具	岩崎電気、遠藤照明、オーデリック、コイト工業、大光電機、東芝ライ	テック、NECライテイング、GSユアサ			
		日立、パナソニック、三菱電機照明、ヤマギワ、山田照明				
	自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、防火扉制御機器	沖電気防災、LIXILニッタン、能美防災、ホーチキ、パナソニック				
		+				

図面名		特記仕様書
縮	尺	NON

